

第 1 回 富塚中学校運営協議会

令和 5 年 5 月 12 日

14 : 30 ~ 15 : 30

会議室

開会 開催要件（委員の過半数の出席）確認 <司会：松島、記録：岩邊>

1 校長挨拶

2 新規委員任命書・学校支援コーディネーター委嘱書の交付（机上传達）

3 浜松市教育委員会から

- 学校運営協議会を設置した学校をコミュニティ・スクール（CS）
- 浜松市学校運営協議会規則について（特に 3 条, 8 条, 12 条, 15 条）
- 学校運営協議会の役割と学校運営協議会の自己評価について

4 自己紹介

5 会長の選出（委員の中から互選）・副会長の指名（会長が指名）⇒会長挨拶

6 議長の選出（出席した委員の中から互選）

7 前回会議録確認

8 熟議 <議長： >

（1）学校運営の基本方針について

（2）TS 活動について

（3）いじめ防止等のための基本的な方針について

（4）夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について（教頭）

9 報告 <司会：松島、記録：岩邊>

10 連絡

（1）次回 令和 5 年 9 月 4 日（月）13 : 30 ~

（2）次回の熟議内容の確認

（3）次回の議長の選出

閉会

第1回 学校運営協議会出席者

学校運営協議会委員

委員	井口 隆夫
委員	高須 博
委員	遠藤 喜和
委員	島田 篤志
委員	加藤 宏史
委員	安間 忠雄
委員	金原 圭吾
委員	松澤 久仁美 (学校支援コーディネーター)
委員	行森 瑞恵 (学校支援コーディネーター)

オブザーバー

市議会議員	関 イチロー
富塚協働センター	野嶋 京登

学校

校長	中津川 貴一
教頭	松島 雄次郎
教務主任	深田 貴代
C S 担当教職員	藤原 啓子
C S ディレクター	岩邊 三幸

浜松市教育委員会

教育総務課	鈴木 陽子
-------	-------

1 国、社会の動向

- 予測困難で急激な変化の時代  Society 4.0（情報化社会）
Society 5.0：経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会
社会を生き抜くための資質・能力の育成
- 新学習指導要領
より良い学校教育を通じてより良い社会を創る 社会に開かれた教育課程
何を学ぶか どのように学ぶか 何ができるようになるか
主体的・対話的で深い学び 3つの柱（評価の3観点）
- 令和の日本型学校教育
「個別最適な学び」と「協働的な学び」 GIGA スクール構想

2 浜松市の教育 第3次浜松市教育総合計画 後期計画（R2～R6）

- 教育理念 「未来創造への人づくり」「市民協働による人づくり」
- 目指す子供の姿 自分らしさを大切にする子供
夢と希望を持ち続ける子供
これからの社会を生き抜くための資質・能力を育む子供
- 3つの重点 コミュニティスクール キャリア教育 教育の情報化

これらを受けて、富塚中学校では

I 校訓・学校教育目標・目指す学校像

1 校訓 「感謝 探究 実践」

（人の気持ちに気づく生徒 分かるまで考える生徒 ためらわずに行動する生徒）

2 学校教育目標

「自ら考え進んで実践し、共によりよく生きる生徒の育成」

3 目指す学校像

個性を認め合い、明るく温かくだれもが安心して生活できる学校

夢と希望、勇気を持ち、主体的に学び、共に成長できる学校

<合言葉> 「1UP」 「共によりよく生きる」

生徒訓：「富中プライド」

～当たり前前のことを当たり前前やる（やってはならないことは絶対にやらない）～

II 今年度の重点

1 授業の充実に向けて

- ・ 教科指導の充実

協働

切磋琢磨

※教科部会の設定（含 技能教科）

※教科内授業公開 ※授業評価

- ・ 「思考力・判断力・表現力等」の育成 ※意図的な仕掛け

- ・ ICTの活用 ⇒ 活用事例の洗い出し

※主体的・対話的で深い学びの実現のために

定着度の向上

2 心温まる関わり

- ・ 心、体、命を大切に

- ・ 生徒の思いを大切にした生徒指導（生徒の心に寄り添いながら）

×怒鳴る アンガーマネジメント

「大事なこと、厳しいことを伝える時こそ、落ち着いた言葉で」

- ・ ほたる学級生徒と ※学校にとっての大きなポイント

3 生徒主体の学習、部活、学校行事

- ・ 富中だからこそできる活動 「生徒が主体となり、教師が支援」

4 キャリア教育の深化充実、キャリア教育による人づくり

- ・ 自己の将来を見据えた実践、計画的継続的な努力

CS との関わり

5 不登校、いじめの減少（抑制）

- ・ 些細なことでも相談できる関係づくり、心の耕し

- ・ 初期対応 ※迅速に、手厚く

6 時間外在校等時間の縮減

7 不祥事 0 ・ 体罰 0 ・ 不適切な言動 0

体に触れる行為

浜松市教職員・富中教職員としてのプライド

令和5年度 総合的な学習の時間【T.S.】3年間の構想

松中31 浜松市立富塚中学校
担 当 藤原 啓子

『ふるさと浜松とそこに生きる自分の生き方を見つめ、未来の創造に参画しよう。』

月	1年	2年	3年
	ふるさと浜松を見つめる	将来を見つめる	未来に向かって
4	・ T.S.全体ガイダンス ◎ SDGsガイダンス ・ 探求方法ガイダンス	 <T.S.3>職場体験学習 社会と仕事を見つめ、自分の生き方を考えよう。 ・ ガイダンス ◎ SDGs学習	 <T.S.5>未来創造 ・ 参画学習 浜松の課題解決に参画し、ふるさとをの明るい未来を創造しよう。 ・ ガイダンス ◎ SDGs学習 ・ ウェビング ● 北陸体験学習 ・ 追究まとめ ・ 発表交流準備
5	・ 訪問依頼・アポイント講座 ・ ウェビング講座 ・ テーマの立て方講座	● 飛騨高山体験学習・個人追究テーマ設定 ・ 追究まとめ ・ 発表交流準備	◇ 発表交流会 (ポスターセッション) ・ 振り返り
6	<T.S.1>ふるさと浜松学習 ふるさと富塚の今を見つめ、私たちにできることを探ろう。 ・ ガイダンス ・ 出前講座	◇ 発表交流会 (ポスターセッション) ◎ 未来授業 ・ 振り返り	◇ 「目覚めよ、社会参画力！」 (市内10団体が講師) - 地域人材・市役所等 ◇ 出前講座 ・ 個人追究テーマ設定 ・ 追究計画立案 ・ 追究参画活動計画
7	・ 学習班作り ・ 班別追究テーマ設定	◎ マナー講座	
8	・ 個人での追究活動	・ 個人での追究活動	・ 追究参画活動
9	・ 訪問場所設定	・ 訪問依頼・アポイント	・ 訪問以来・アポイントメント ・ 追究活動
10	・ 訪問準備	● 事前訪問	・ フィールドワーク ・ 学年発表交流準備 ◇ 学年交流会
11	● フィールドワーク ・ 訪問礼状作成 ・ 発表交流準備 ◇ 発表交流会 (ポスターセッション)	● 職場体験(11/9～10) ・ 体験礼状作成 ・ 発表交流準備 ◇ 発表交流会 (ポスターセッション)	■ 追加フィールドワーク ・ 全校発表会準備 ◇ 全校発表交流会 (ポスターセッション)
12	・ 振り返り ◎ 浜松まつり交流 <T.S.2>飛騨高山体験学習 飛騨高山の生活文化に触れ、ふるさと浜松を見つめ直そう。 ・ ガイダンス ・ 追究カテゴリーガイダンス	・ 振り返り <T.S.4>北陸体験学習 日本の伝統文化や地域の姿に触れ、自分の生き方を見つめよう。 ・ ガイダンス	・ 振り返り ・ 学んだことを発信 (新聞投稿等)
1	・ 個人追究テーマ設定 ・ 追究計画立案	・ ウェビング ・ 個人追究テーマ設定 ・ 追究計画立案	・ 3年間の振り返り ◇ 3年間のまとめ交流 ・ 学んだことを発信
2	◇ 中間発表会 (ポスターセッション)	・ 訪問計画立案	・ 1UPパスポートまとめ
3	・ 1年間の振り返り (1UPパスポート)	・ 1年間の振り返り (1UPパスポート)	

◎ コミスク授業

● 体験活動(コーディネーターに協力を依頼する。)

◇ 発表交流会(意見交流を重視するポスターセッションで行う。)

令和5年度T.S.（総合的な学習の時間）全体計画

担当 藤原 啓子

